

Press Release

報道関係者各位

平成 26 年 1 月 31 日

株式会社ユビテック

(JASDAQ コード:6662)

## ユビテック、環境省の CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業に採択 ～EV・小型 EV 向け地域交通共同利用プラットフォームを開発・実証～

ユビキタスプラットフォーム事業の創生を目指す株式会社ユビテック(東京都品川区、代表取締役社長: 荻野 司、以下「ユビテック」)は、環境省が実施する「平成 25 年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」に提案した「EV・小型 EV 向け地域交通共同利用プラットフォーム開発・実証」が採択され、技術開発を進めております。

取組みといたしまして、ユビテックのカーソリューション技術と日本ユニシス株式会社(東京都江東区)の EV(\*1)・プラグイン ハイブリッド車 (PHV) 向け充電インフラシステムサービス「smart oasis® (スマートオアシス) (\*2)」を連携することで、EV・小型 EV(\*3)の対応を中心とした地域交通共同利用プラットフォーム開発および共同利用の実証実験運用を事業者の協力のもと実施して参ります。

これにより、将来的に自動車の共同利用のビジネスモデルであるカーシェアリング(\*4)事業者の新規参入の促進に繋がると考えております。特に EV・小型 EV に関しての新規参入は、システムインフラ、電源供給インフラなどのコスト負担から単独での事業化は厳しいものであるため、異なる事業者間で車・システムを共同利用出来るローミング機能、EV、小型 EV のシステム共通化を進めて参ります。

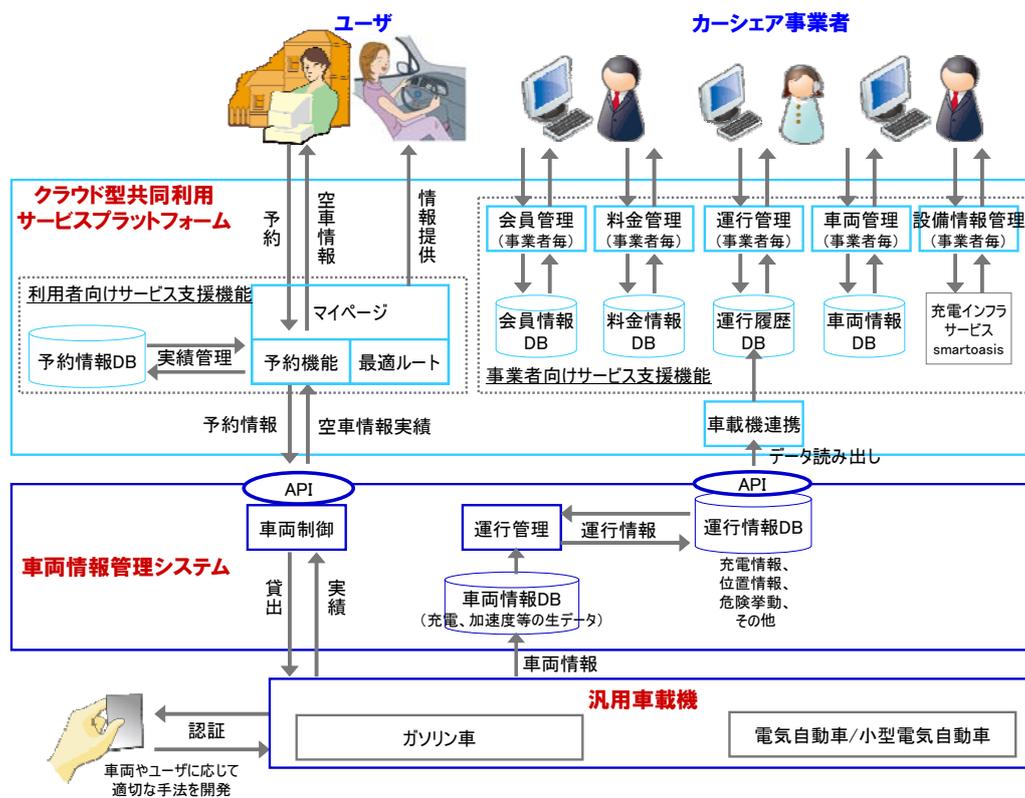
また、既存地域交通手段とも連携できるシステムで利用者の使い勝手とカーシェアリングの利用率を向上させ、CO2 削減に繋げて参ります。

ユビテックは、カーシェアリング、テレマティクス(\*5)などの車載機やクラウド型サービスシステムの開発・提供を行ってきた実績があります。そこで蓄積された技術に加え、本事業における新たな技術開発に基づいて社会に役立つサービス基盤の構築をより一層進めて参ります。

本年度はベースシステム開発と車両情報共通プラットフォームの構築、一部の小型EVでの実証実験を予定しております。

引き続きユビテックでは、環境保全に向けITの持つ可能性を追求しながら、「安全・安心」「利便性」「コスト削減」を実現できるカーソリューションの開発を積極的に進めて参ります。

参考) 事業成果の最終イメージ



### EV・小型EV向け地域交通共同利用プラットフォーム

- \*1 EV: 電気自動車(Electric Vehicleの略)
- \*2 smart oasis(スマートオアシス): 日本ユニシスの「smart oasis」は、電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド車(PHV)の充電インフラを利用するための、利用者認証機能や課金機能および充電装置の位置情報・空き情報を提供するシステムサービスです。
- \*3 小型EV: コンパクトで小回りが利き、地域の手軽な移動の足となる軽自動車よりも小さい二人乗り程度の三・四輪の電気自動車。一部の車種は普通免許で乗れ、車庫証明も不要など、利便性が高まっている。
- \*4 カーシェアリング: 会員間で自動車を共同利用する仕組みであり、レンタカーの手続きを簡素化し、短時間の用途で手軽に自動車を借りられるサービスとして提供されている。
- \*5 テレマティクス: 自動車から収集した様々なデータを無線通信で収集し、低燃費運転のアドバイスや自動車の位置情報に基づく渋滞情報の生成・提供などを行うサービス。

以上

**【本件に関するお問合せ先】**

株式会社ユビテック 担当: 管理本部 総務課  
 電話: 03-5487-5560 FAX: 03-5487-5561